

週刊

鋼構造ジャーナル

2019
10/14 NO. 1948

週刊(毎週月曜日発行)／購読料・1カ年49,500円、6カ月27,000円(税・送料とも)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中貴士 編集人・大熊稔／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077 / 大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603 / 札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636 / 振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873 / 郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

(11) 2019年(令和元年)10月14日

鋼構造ジャーナル

(第三種郵便物認可) 第1948号



清松社長(右)から是永市長へ
寄付金目録が贈られた

大分県のHグレードファ
ブ、清松総合鐵工(宇佐市
大字尾永井470-1、清
松芳夫社長)は昨年から、
高校生の就職支援を目的に
同市への寄付金贈呈を開始
した。今年も9月26日に宇
佐市役所で寄付金贈呈式が
開かれ、清松社長からは永
修治・宇佐市長に寄付金目
録が贈られた。

同社は、フアブリケータ
をはじめ製造業の人手不足
が顕著化している状況を問
題視し、高校生が地元のも
のづくり企業に就職しやす

くなる取り組みとして寄付
金贈呈を実施。同市は「宇
佐市高校生等地元就職応援
事業」として寄付金を活用
することで、地元の人材不
足解消を強化した。

事業は高校生が同市のも
のづくり企業に就職した際、
高校在学中に取得したもの
のづくりに関わる資格の取得
費用を上限2万円まで補助
するもの。昨年度は11人が
応援事業を活用した。

贈呈式では是永市長が
「寄付をいただき、感謝申
し上げます。御社の『世の
ため、人のため、己の
ため』とする社是の通
り、社会のための取り
組みは非常にありがた
い。これを機に、地元
への就職をより支援す
る対策を検討したい」
と謝辞を述べた。

清松社長は「有効に
活用していただき、あ
りがとうございます。
現状、ものづくりの会

清松総合鐵工(大分)

高校生の地元就職を支援

宇佐市に寄付金を贈呈

社から若者が離れ始めてお
り、対応策が必要となつて
いる。可能であれば、基金
を創設して、継続的な事業
として高校生の地元への就
職を支援してほしい」と希
望を述べた。



贈呈式のもよう(左からは永市長、
清松社長、清松容子取締役)

概算延床面は約202万平方メートル 国交省 8月の建築設計業務の動態調査

国土交通省
が集計した8
月の建築設計
業務の動態調
査(対象50
社)によると、
実施設計に着
手した建築設
計業務の概算
延床面積は2
01万8000
0平方メートル
前年同月比23
%増加した(前年同月の
共通回答会社を対比)。
発注者別にみると、民間
が183万3000平方メートル、
公共が18万4000平方メートルとなつた。
用途別では住宅系が43万
3000平方メートル、このうち
民間が42万2000平方メートル、
非住宅系では158万5000平方メートル、
うち民間が141万1000平方メートルとなつた。